



発行所 金沢市泉本町3-111 金沢高等学校 新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の 気風を高揚し 共に求める真理 共に育む友愛 共に尊ぶ礼節 共に鍛える心身

全国舞台で躍動

～ウインターカップ7年ぶり出場～

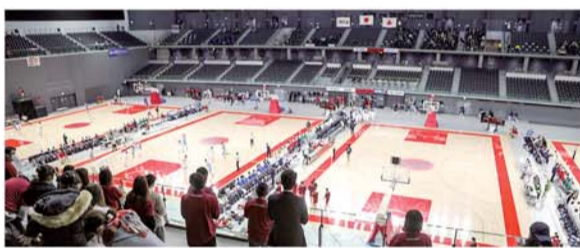


ゴール下で激しく競り合う選手たち(手前・白石君、後・山出君)

第73回全国高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)第2日は12月24日、東京の武蔵の森総合スポーツプラザ等で行われ、2013年以来7年ぶりに出場した本校男子バスケットボール部は、伝統の走るバスケットを展開し、強豪が集まる全国舞台で躍動した。

後半の反撃も及ばず

新型コロナウイルスの影響でインターハイや国体が中止となり、高校バスケットにおける昨年唯一の全国大会となったウインターカップには、全国から予選を勝ち抜いた男女各60校が参加した。会場には部員や保護者らが応援に駆け付け、客席から拍手で選手を鼓舞した。試合では実践学園(東京)に序盤でリードを許し、



全国の精鋭による熱戦が繰り広げられた会場

前半終了時点で21点差となった。しかし後半からは反撃に転じ、第3・4クォーターの合計得点は相手チームを7点上回ったが、惜しくも及ばなかった。

主将の本谷優治君(3年13組)は「7年ぶりに全国の舞台で金沢のバスケットボールを表現することができ、とてもうれしかったです。大変な情勢において、大会が開催されて試合ができたこと、支えて下さった方々に本当に感謝しています」と、3年間の思いを込めて振り返った。

新型コロナウイルスの世界的流行が広がってから、1年以上が過ぎた。私たちの生活は、コロナの前後で大きく変わってしまった。ソーシャルディスタンス、リモートワーク等の新しい生活様式を、誰が1年前に予想できただろうか。

増える「#おうち時間」 世の中を大きく変えたのが、緊急事態宣言によって在宅の時間、いわゆる「おうち時間」が増えたことだ。ネットの世界等では、その時間をいかに充実させるかが注目された。Instagram上では「#おうち時間」の投稿数が増え、家で手の込んだ料理を

したり、楽器を演奏する等の新しい楽しみが広がった。おうち時間を充実させる方法が多く取り上げられた。社会人の間では、仕事や飲み会等がリモートで行われることが多くなった。リモートのメリットには、通勤しなくて良いので感染リスクが減る

私たちが高校生も、昨年新聞部が行ったアンケートでは、休校中はモチベーションが上がらなかったり、生活が不規則になったりする、との意見があった。 宣言解除後も、人々の不安感はまだ続いている。ある民間調査会社が「外出に対する不安度」を調べたアンケート結果によると、12月中旬の時点で「飲食店で食事をしない」という項目に対し、「不安がある/やや不安がある」と答えた人は計66%に上った。「国内旅行に行く」という項目に

このキャンペーンが成功したのかと言われる、むしろ失敗したと言った方が正しいのではないのか。政府の対応でさえ、起り得る結果を予測できず、国民に混乱を生じさせる中、一般市民には不安ばかり高まるのは当然と言えよう。

さらなる 感染拡大の恐れ ワクチン接種は始まったが、これからの感染が拡大する可能性は十分あり得る。全国でも緊急事態宣言が再度出されるかもしれない。予測できない世の中を、私たちはコロナとともに生き抜いていかなければならない。(池村 拓登)

予測できない未来をどう生きる

張 新型コロナが社会を変えた

このや、自分のペースで仕事ができること等が挙げられる。しかしメリットがあるならデメリットもある。それは「コミュニケーションが十分にできず、同僚たちと話す機会もなく、ストレスが溜まることである。

調査会社が「外出に対する不安度」を調べたアンケート結果によると、12月中旬の時点で「飲食店で食事をしない」という項目に対し、「不安がある/やや不安がある」と答えた人は計66%に上った。「国内旅行に行く」という項目に

GoToイート等の事業を始めた。結果的に多くの人々が旅行に出かけ、業界は一時的に潤ったように見えるが、感染拡大に歯止めがかからないことから、両事業は停止や利用の一時自粛が行われて

このキャンペーンが成功したのかと言われる、むしろ失敗したと言った方が正しいのではないのか。政府の対応でさえ、起り得る結果を予測できず、国民に混乱を生じさせる中、一般市民には不安ばかり高まるのは当然と言えよう。

熱闘! スポフェス初開催

バレーボールで絆深める

スポーツフェスティバルが9月24日、いしかわ総合スポーツセンターと金沢市総合体育館の2会場で行われ、全学年の生徒がクラス対抗バレーボールで競い合った。

新型コロナウイルスの影響で文化祭や体育祭等の行事がやむなく中止となったことから、クラスの絆を深めてもらう目的で初開催された。今回は、クラスごとに生徒がデザインしたTシャツが学校から

特別に提供され、クラスの一体感がさらに強まった。それぞれの会場では、体温測定や手指消毒、応援時のマスク着用等の感染予防対策が徹底された。また、1・2年生の会場となったいしかわ総合スポーツセンターでは、吹奏楽部とチアリーダー部によるパフォーマンスが行われ、生徒たちから拍手が送られた。

各学年の優勝クラスは1年組(男子)と10組(女子)と8組(女子)だった。



息の合ったプレーを繰り広げた生徒たち

探究 今だからできること

2年生が発表・研究に取り組む

新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事が中止となったことから、2年生がクラスとして何か一つのことを成し遂げることを目標に、探究活動に取り組んだ。

2年生は例年、文化祭でダンスを披露していたが、行事の中止に伴い、コロナ禍の中でクラスごとにできることを考え、9月に実施することになった。 それぞれの活動では、特進コース3クラスがタブレット

を使った動くモザイクアートに取り組みだのをはじめ、カードゲームやスポーツに関する研究、ダンスの発表や勉強法の発表を行うクラスもあった。新聞記事や職業に関する調査学習、千羽鶴の作成やオンライン獅子舞の企画等

のユニークな活動に取り組むクラスもあった。さまざま企画の運営を通じて、生徒たちは一つの



タブレットで作成した動くモザイクアート

1年ぶりに選挙を実施

後期生徒会執行部活躍中

令和2年度後期生徒会執行部は9月29日に選出され、新しい生徒会執行部が発足した。新型コロナウイルスの影響で前期役員選挙が実施できなかったことから、1年ぶりの新組織となった。

困難に負けず

「チャレンジ!」

新聞部は新執行部のメンバーにインタビューを行った。会長の曾根光梨さんは、「金沢高校の伝統を守り、生徒会が1丸となって新たな挑戦ができるよう努めたい」と語った。

副会長の坂下颯君は「このご時世で多くの行事ができない

かったが、皆で壁を乗り越えていきたい」と意気込みを語り、同じく副会長の喜多光梨さんは「どんなアイデアを出していきたい」と抱負を語った。

書記の高田光矢君は「引き続き3密対策をしながら学校生活を送ってほしい」と生徒に呼びかけ、1年生書記の中川将太君は「微力だが全力で学校を支えていきたい」と力を込めた。

- 令和2年度後期 生徒会執行部 会長 曾根 光梨 (2年2組) 副会長 坂下 颯 (2年5組) 書記 高田 光矢 (2年7組) 高川 将太 (1年11組) 会計 武田 麗央 (2年8組) 名古 谷麻尋 (1年6組) 執行委員 西脇 幹 (2年7組) 藤林 太 (2年8組) 小松 永 (1年2組) 松原 香帆 (1年4組) 岡谷 花苑 (1年6組) 三谷 悠斗 (1年7組)



朝のあいさつ運動を行う執行部メンバーたち

朝のあいさつ運動を行う執行部メンバーたち

朝のあいさつ運動を行う執行部メンバーたち

会計の武田麗央さんは「コロナ禍の中でも楽しめる企画を作りたい」と話し、1年生会計の名古谷麻尋さんも「全校の思いのつらくなるような企画を考えていきたい」と語った。

新人大会特集

県高校新人大会は9月から11月の期間に県内各地で行われ、各部、同好会の選手たちが熱戦を繰り広げた。

Soul 魂

男子総合優勝 奪還 男子400リレー 大会新V

陸上競技



走高跳でバーをクリアする津田君

県新人大会陸上競技が9月17日から19日にかけて県立上野原運動場で行われた。本校陸上競技部は、男子400mリレーで41秒70の大会新記録で優勝し、男子は総合優勝を果たした。

た。さらに棒高跳で舟木君(1年10組)、走幅跳で津田君(2年13組)が優勝した。部長の高井克真君(2年13組)は「今年はコロナの影響により皆思うように練習をすることができませんでした。その中でも一人ひとりが試行錯誤しながら練習に取り組み、男子総合・フィールド優勝をはじめ、個人種目でも多く入賞できました。これらの結果が出せたのは、先生方や他の選手の支えがあったからだと思うので、感謝することをお忘れず、これからも全国制覇を目標に頑張っていきたいと思えます」と話した。

- 【県新人大会結果】
男子
100m 小林研太 優勝
200m 高井克真 4位
400m 津田君(2年9組) 6位
800m 山下大輝(2年2組) 8位
1000m 森田澤輝(1年11組) 3位
1500m 石崎仁二朗(2年11組) 5位
5000m 松本航季(2年4組) 4位
10000m 奥村慎太郎(2年8組) 4位
20000m 澤井克樹(1年11組) 6位
4x100mリレー 高井、小林、津田、山下 優勝

- 女子
4x400mリレー 山下、澤井、津田、奥村 2位
走高跳 松本航季 5位
棒高跳 津田君 7位
舟木君 優勝
走幅跳 津田君 優勝
100m 津田君 優勝
200m 加藤亮太(2年10組) 5位
400m 加藤亮太 2位
800m 津田君 優勝
1500m 津田君 優勝
5000m 津田君 優勝
10000m 津田君 優勝
20000m 津田君 優勝
4x100mリレー 高井、小林、津田、山下 優勝

- 【北信越新人大会結果】
男子
100m 小林研太 8位
200m 高井克真 4位
400m 津田君 6位
800m 山下大輝 8位
1000m 森田澤輝 3位
1500m 石崎仁二朗 5位
5000m 松本航季 4位
10000m 奥村慎太郎 4位
20000m 澤井克樹 6位
4x100mリレー 高井、小林、津田、山下 優勝



個人戦を制した河邊さん(右)

剣道 女子 2年ぶり栄冠

県高校新人剣道競技が11月12日から14日にかけて、美川スポーツセンターで行われ、本校剣道部が女子団体で2年ぶり、7度目の優勝を挙げた。また女子個人では河邊朱華さん(2年11組)が優勝した。

女子剣道部部長の高見凛香さん(2年13組)は、「新チームになってから、全ての大会で優勝旗を持ち帰ることができました。優勝したことで私達の自信へと繋がっており、ハイハイ優勝という大きな目標に近づいたことが嬉しかったです。ただし、これに満足することなく、チームのコンセプトである『挑』という文字の通り、『常に挑戦者』という気持ちを持たず、毎日の練習に取り組みしていきます」と話してくれた。

- 【県新人大会結果】
女子団体
優勝 金沢 0-3 泉丘
準優勝 金沢 2-2 金市工
女子個人
優勝 河邊朱華
準優勝 高見凛香

第3位

同じく本校女子バスケットボール部は準決勝で津幡に敗れ、3位となった。部長の大野沙弥さん(2年13組)は「新人戦では、3年生の偉大さを強く実感しました。新チームとなったばかりでチームが全然まとまっていなくて、自分としてもチームとしても沢山の課題が見つかりました。今後は『一生懸命楽しむ』というスローガンのもと、さらに頑張ります」と、力を込めた。

- 【県新人大会結果】
2回戦 金沢 107-36 倉敷
3回戦 金沢 81-35 鹿西
準決勝 金沢 71-60 金沢西
準優勝 金沢 42-94 津幡
シード順位決定戦
金沢 71-68 倉敷

野球 北信越県大会ベスト8

北信越地区高校野球県大会は、9月19日から9月27日にかけて県立野球場等で行われ、本校野球部は準々決勝で星陵に敗れ、ベスト8となった。主将の中川大依君(2年12組)は「今回の大会は新型コロナウイルスの影響で、毎日野球ができていないことが当たり前の前ではない、ということが一人ひとりが感じて挑んだ大会でした。今まで支えて

- 【北信越県大会結果】
2回戦 金沢 4-0 小松工
3回戦 金沢 6-3 遊学館
準優勝 金沢 1-8 星陵
ベスト8

男子テニス 4年連続14回目優勝 単・複・団体 全制覇

県高等学校テニス新人大会は、9月17日から20日にかけて辰口丘陵公園テニスコート等で行われ、本校男子テニス部は団体で4年連続14回目の優勝を果たした。個人シングルスでは、吉田悠真君(2年7組)と谷口和輝君(2年7組)が快勝を挙げ、決勝戦にて直接対決となった。その結果、吉田君が優勝、谷口君が準優勝のワンツーフイニッシュを成し遂げた。ダブルスでも吉田君・谷口君ペアが優勝を果たした。主将の織田哲平君(2年3組)は「男子テニス部は、北

信越選抜・北信越私学ともに4位で終了、全国出場が決まりました。村上先生やOBの方々による指導、トレーナーによるトレーニング等のおかげで、私達は目標を達成することができました。全国で一勝でも多く勝てるように、また練習を頑張りたいと思います」と、決意を新たに話してくれた。

- 【北信越大会結果】
団体戦
2回戦 金沢 4-1 富田(富山)
準決勝 金沢 0-3 松蔭(長野)
順位決定2回戦 金沢 3-0 倉敷

女子テニス 準優勝を飾る

同じく、本校女子テニス部は団体戦にて、金沢西高に勝利し、準優勝という素晴らしい結果を残し、北信越大会に駒を進めた。部長の北浦利子さん(2年8組)は「私達は新人戦に向けて練習する前に、まず全員で目標を決めました。準優勝という結果は、この目標を達成するために一球一球集中して互いを鼓舞し合いながら、厳しい練習を重ねてきた成果

- 【北信越大会結果】
団体戦
2回戦 金沢 0-5 水橋(富山)
順位決定戦 金沢 1-3 長岡(新潟)

サッカー 悔しさを忘れず

県高校新人サッカー競技は、11月12日から15日にかけて、能登野球場等で行われた。本校サッカー部は予選リーグの対戦校を快進撃で下し、予選1位で決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメントでは準々決勝を勝ち抜き準決勝に進んだが、鵬学園に惜しくも敗れ3位となった。部長の宮村亮臣君(2年2組)は「選手権大会が終わって、それで

- 【県新人大会結果】
準々決勝 金沢 0-0 鵬学園
PK 2-1
3位

男子バスケット 雪辱を期す

県高校新人バスケットボール大会が11月12日から15日にかけて、津幡運動公園体育館で行われ、本校男子バスケットボール部は準決勝で金市工に敗れ、惜しくも3位となった。部長の上杉修平君(2年12組)は、「新チームで挑んだ新人戦では、3年生に頼っていた心の部分

- 【県新人大会結果】
2回戦 金沢 192-29 倉敷
3回戦 金沢 103-32 羽咋工
準々決勝 金沢 117-49 金沢西
準決勝 金沢 78-88 金市工
シード順位決定戦 金沢 110-61 星陵

女子バスケット 課題克服に励む

まっていなくて、自分としてもチームとしても沢山の課題が見つかりました。今後は『一生懸命楽しむ』というスローガンのもと、さらに頑張ります」と、力を込めた。

- 【県新人大会結果】
規定組演武 西村悠(1年1組)・伊藤琉成(1年4組)
自由組演武 大塚千寛・出口こう(2年9組)
自由単独演武 松井連七 3位

寺林法 次こそは全国へ

県高校新人大会少林寺拳法競技が11月13日から14日にかけて、松任総合運動公園体育館で本校少林寺拳法同好会は、女子自由単独演武で松井連七さん(2年11組)が3位に入賞した。

- 【県新人大会結果】
規定組演武 西村悠(1年1組)・伊藤琉成(1年4組)
自由組演武 大塚千寛・出口こう(2年9組)
自由単独演武 松井連七 3位

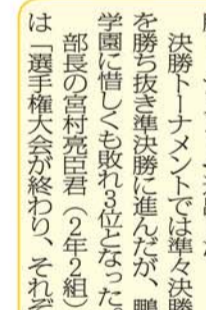
自由単独演武で3位に入賞した松井さん

た。次の大会は高校総体なので、インターハイ出場を目標にして、一日一日の練習を真剣に行なっていきます」と話した。

- 【県新人大会結果】
規定組演武 西村悠(1年1組)・伊藤琉成(1年4組)
自由組演武 大塚千寛・出口こう(2年9組)
自由単独演武 松井連七 3位



鋭いショットを放つ村上さん



野々市明倫戦で激しく競り合う選手たち



鋭いバッティングを見せるショックリー君

ゴミ拾いの情熱を競い合う!

インター「スポGOMI甲子園」全国大会出場



高校生がゴミ拾いを競い合う「スポGOMI甲子園」全国大会は10月18日、いしかわ四高記念公園周辺で行われ

た。本校インターアクト部からは3人1組で5チームが参加し、優勝したチームが全国大会に駒を進めること

手作りのゴミ箱持参で全国大会に出場した(左から)大島さん、島さん、小柳さん

11月22日に東京都墨田区役所バードホールで行われた全国大会では、大島さん(2年1組)、島萌々香さん(同)、小柳芽吹さん(同)の3人が手作りのゴミ箱を持参して清掃活動を行い、その量と質をポイントで競った。

【スポGOMI甲子園】インターアクト部は、高野志織(2年1組)・羽野彩音(同)・岡村優希(同)の3人でゴミの量と質を競います。頑張った甲斐があって、1チームが優勝し、全国大会に出場することができました。入賞はできませんでしたが、墨田区役所周辺の街を精一杯清掃して、爽やかな気持ちになりました。来年も頑張ります。大会を振り返りました。

オリジナルアイテム賞

金高

ソフトボール 2年ぶり9度目優勝!

県高新人ソフトボール競技は10月25日から26日にかけて、金沢市専光寺ソフトボール場で行われ、本校ソフトボール部は決勝で津幡に5-0の完封勝ちを収め、2年ぶり9度目の優勝を果たし、全国選抜大会の出場を決めた。

【県高新人大会結果】
1回戦 金沢11-0 津川(富山)
2回戦 金沢1-0 長瀬(長野)
準決勝 金沢2-0 榊原(福井)
決勝 金沢1-3 新福井

2回戦 金沢1-0 金沢西
準決勝 金沢10-0 倉前谷
決勝 金沢5-0 津幡



V奪還に笑顔の選手たち

水泳 男子総合準優勝



競技を終え、笑顔の選手たち

100mバタフライ、小林勇斗君(2年12組)が400m個人メドレー、中川まおさん(1年3組)が50m自由形、伏屋結月さん(2年11組)が200m・400m個人メドレーでそれぞれ栄冠に輝いた。

【県高新人大会結果】
男子個人
400m自由形 小林勇斗 2位
50m背泳ぎ 本間雄翔(2年3組) 4位
50mバタフライ 齋木涼太郎(1年1組) 5位
100mバタフライ 池岡飛鳳(1年7組) 7位
100mバタフライ 上野優陽 優勝
越村徳都(1年9組) 5位
池岡飛鳳 7位
200m個人メドレー 優勝

力していきたいです」と語ってくれた。
【県高新人大会結果】
女子個人
50m自由形 中川まお 優勝
100mバタフライ 中川まお 2位
200m個人メドレー 伏屋結月 優勝
400m個人メドレー 伏屋結月 優勝
総合 伏屋結月 優勝

【県高新人大会結果】
400mフリーリレー 小林勇斗・本間雄翔・齋木涼太郎・上野優陽 3位
400mメドレーリレー 本間雄翔・小林勇斗・上野優陽・齋木涼太郎 3位
総合 準優勝
女子個人
50m自由形 中川まお 優勝
100mバタフライ 中川まお 2位
200m個人メドレー 伏屋結月 優勝
400m個人メドレー 伏屋結月 優勝
総合 優勝

女子バレーボール 北信越出場 決めた



賞状を手に笑顔の選手たち

県高新人バレーボール競技は11月12日から15日にかけて、若宮公園体育館等で行われ、本校女子バレーボール部は準決勝で金沢商業に敗れたものの、前年に続き北信越大会への出場を決めた。

【県高新人大会結果】
2回戦 金沢2-0 翠星
3回戦 金沢2-0 倉前谷
準決勝 金沢2-0 七尾
準決勝 金沢0-2 倉前谷

器に全員でベスト4をつかみとり、北信越大会の出場を決めることができました。今年はいくつもの大会が中止になり、思い切り試合や練習をできる環境が当たり前でないことを知りました。このことを忘れずに、目の前にある大会一つ一つを大切に取組んでいきたいと思えます」と話してくれました。



個人戦に臨む大河内君

斗君(2年12組)が準優勝した。部長の大河内君は「部員全員が個人戦優勝を目指して臨んだ大会でした」

【県高新人大会結果】
男子個人
60kg級 大河内優斗 2位
73kg級 金谷悠(1年10組) ベスト8
女子個人
52kg級 西山もも(2年13組) 3位

の大会までに新人戦で出た課題を克服して、日々の稽古で身体的にも精神的にも強くなり、全員が優勝できるように頑張ります」と、新たな決意を語った。



佐藤さんの作品と、指導にあたった南先生

3年度全国総文への出品が決定した。

【県高文連金沢地区美術展】
佐藤美空 優秀賞
次年度全国総文への出品決定 他8名出品

品でできるなんて思っていなかったもので、とても驚いています。全国大会に出品する作品は、今回賞をいただいたものよりも大きなものになるので、より集中して良い作品を作り上げたいと思います。また、書道部全体としても、今まで通り和気あいあいとしながらも、誰かの心に残るような作品を書いていきたいと思えます」と語ってくれました。

【県高文連金沢地区美術展】
佐藤美空 優秀賞
次年度全国総文への出品決定 他8名出品

新聞 総合の部 優秀賞に輝く



表彰式で賞状を受け取る部員たち

県高新聞コンクールの結果が11月12日に発表され、金高新聞168号(令和2年8月8日発行)が総合の部で優秀賞を受賞した。コロナ禍で大会等が中止された部活動を丁寧に取り

杯の力で本番に臨みました。あと一歩で全国大会出場という結果に、悔しさと嬉しさが相まって今は満足感で高揚しています。楽しみながらチームワークで勝ち取った結果を誇りに、これからも頑張ります」と語ってくれました。

【県高新人大会結果】
男子個人
60kg級 大河内優斗 2位
73kg級 金谷悠(1年10組) ベスト8
女子個人
52kg級 西山もも(2年13組) 3位

【県高新人大会結果】
男子個人
60kg級 大河内優斗 2位
73kg級 金谷悠(1年10組) ベスト8
女子個人
52kg級 西山もも(2年13組) 3位

各部の記録

- 卓球部
 - 男子団体 1回戦 金沢3-1 鶴来
 - 2回戦 金沢2-3 星稜
 - 女子団体 2回戦 金沢1-3 北陵
- ハンドボール部
 - 決勝トーナメント 1回戦 金沢15-23 桜丘
- 男子バレーボール部
 - 1回戦 金沢0-2 金市工
- 弓道部
 - 男子団体 予選 8中/32射
 - 女子団体 予選 10中/32射
- バドミントン部
 - 男子団体戦 1回戦 金沢0-3 県工
 - 女子団体戦 2回戦 金沢1-3 県工
- 将棋同好会
 - 決勝トーナメント 山崎聖天明(2年9組) 3位

特集

伝統のまち・金沢にオープン 国立工芸館が地方を変える！

「地方創生」を軸とする。国立工芸館は、この地が選定されたという。国立工芸館は、活力ある地域を作る



松田権六《蒔絵螺細有職文簞》(部分) 1960年 東京国立近代美術館蔵 写真：森 善之



移設された松田権六氏の仕事場

地方創生のモデルケース

開館から間もない11月、真新しい施設に足を踏み入れると、主任研究員の花井久穂さんが出迎えてくれた。まずは移動のいきさつを尋ねると、首都機能の一極集中を解消し、政府関係機関を地方に移転させるモデルケースとして、地元誘致活動もあつたこの地が選定されたという。国立工芸館は、活力ある地域を作る



レトロな外観が美しい国立工芸館

日本海側の国立美術館となる「東京国立近代美術館工芸館」(通称・国立工芸館)は10月25日、金沢市出羽町に移転オープンした。周辺には金沢市の21世紀美術館や石川県の県立美術館があるが、国立の施設がなぜ東京から金沢へ移転したのだろうか。その答えを探るため、新聞部はオープンしたばかりの工芸館取材した。

を体現する役割を担っているのだ。

そもそも、「工芸」とは何かという点に触れておこう。工芸は英語でCRAFTと訳され、もともとは生活用具としての実用性を備えた芸術作品と言われる。さらに材料によって陶磁、金工、漆工、木

「漆聖」の仕事部屋に感動

近な存在だと言える。

この施設において注目すべき点は大きく分けて三つある。一つ目は「建物の歴史的背景」、二つ目は「展示の工夫」、そして三つ目が「漆聖・松田権六の存在」だ。これら三つは国立工芸館を語るにおいて欠かせないポイント



鈴木長吉《十二の鷹》(部分) 1893年 東京国立近代美術館蔵 写真：エス・アンド・ティフォト



名品の数々を間近に鑑賞できる展示室

また、国内興行収入一位を記録した映画「無限列車編」を見に行ったという先生も多く、谷口先生は「エンディングのシーンが好き」と語ってくれた。喜多先生は「血鬼術にかかって首を切ろうとする炭治郎を伊之助が止めるシーン」が心に残ると話し、武部先生は「煉獄杏寿郎と猗窩座の

鬼滅が好き理由について、土橋先生は「テンポ、ストーリーのよさ、キャラクターの可愛さ、絵の美しさ」、中村(勇也)先生は「炭治郎の心がきれいなところ」、数内先生は「キャラクターが話す一つ一つのフレーズが心に



特別に持って来ていただいた漫画やグッズを前に、先生方に鬼滅愛を聞く新聞部員

対決場面」が良かったと話してくれた。さらに好きなキャラクターについて聞くと、煉獄杏寿郎を筆頭に、嘴平伊之助、我妻善逸、竈門炭治郎の3人組や、鱗滝左近次、胡蝶しのぶ、時透无一郎、猗窩座等、主役から敵役まで、先生方によって推しキャラも様々だった。個性的なキャラが多い本作の特徴とも言えるだろう。

残ること」と、それぞれ語ってくれた。ストーリー以外に主題歌も人気で、実際に村上(孝有)先生はよく車で聞いているとか。

今回の金高新聞発行では、自分の担当する部分が多く大変でしたが、無事に終えることができました。次号では今回の新聞のクオリティをさらに上げるものを作りたいと思います。 中田 智大(2年3組)

編集後記

前号からの約6ヶ月間で世界は一変したと言っても過言ではありません。新型コロナウイルスは一時、鳴りを潜めたと思われましたが、現在もなお猛威を奮っています。そんな中でも思われた環境で取材をさせていたとき、満足いく記事を書けたことを嬉しく思います。これから事態はどうなっていくかは分かりませんが、新しい部長として部を引っ張りながら、活動を頑張っていきたいです。 部長 今井 和臣(2年2組)

1年生の皆さんへ 部員募集中!!

「鬼滅」愛が止まらない!

先生方にも大ブーム

社会現象となった大人気漫画「鬼滅の刃」。アニメ化、映画化されてさらに人気を沸騰する中、本校の先生方にも「鬼滅ブーム」が広がっているという。新聞部では自他ともに認める鬼滅ファンの先生方8人にアンケートを行い、その溢れる「鬼滅愛」を語っていただいた。

高校生にも魅力がいっぱい

花井さんによると、新型コ

ロナウイルスのため、当面の間は事前予約制となるが、高校生をはじめとする若い人たちに、ぜひ作品を見に来てもらいたいという。また、国立工芸館の名譽館長はサッカークラブ代表の中田英寿さんで、若い世代への発信力が期待されている。



花井さんに取材する新聞部員

えてくるものもあるはずだ。国立工芸館のにぎわいは、きっと地方が発展する確かな一歩へとつながっていく。これを機に、足を運んで工芸の世界に触れてみてはどうだろうか。

「土曜講座」で学びを深める

特別探究プログラム「大學生と一緒に語ろう」を語ってみよう」は8月8日、本校で行われ、東京大学教育学部4年生の増子彩夏さんが、自身の体験談を交えて進路選択のアドバイスをを行った。



東大生と一緒に語ろう生徒たち

の模試解説授業等を行う「土曜講座」を開催している。ぜひ様々な講座に参加して、将来や進路について学ぶきっかけとしてほしい。